



資料① ポスターセッション【1年】



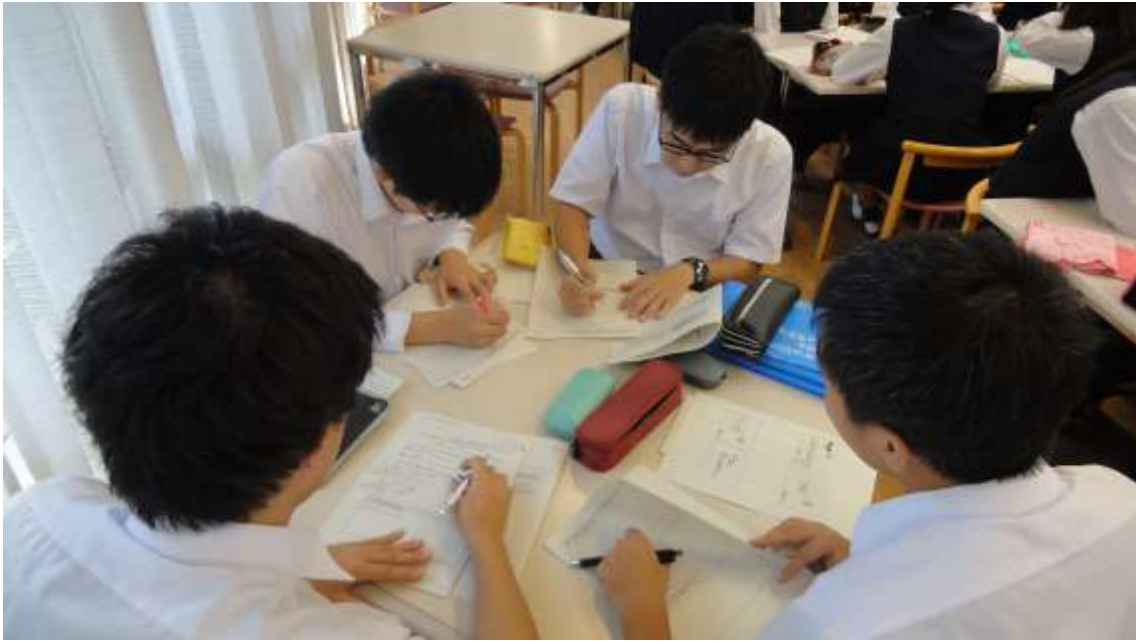
資料② ポスターセッション【2年】

2年生実施 ポスターセッションテーマ一覧

①博士2年 「経済的相互依存化の領土問題」
②博士1年 「英詩の授業に関する発表」
③博士1年 同上（共同発表）
④修士2年 「記憶が引き起こす色錯視現象による色覚メカニズム」
⑤博士3年 「神経光学、生体医工学（神経回路）に関する研究」
⑥博士3年 「日本のベンチャー企業の現状と今後の調査」
⑦高校2年「大宮高校生 行動の傾向と生活の問題点」（展示発表）
⑧高校2年「大宮高校の水道水」（展示発表）
⑨高校2年「下駄の天気予報」（展示発表）
⑩高校2年「女子ソフトテニス部民泊物語」（展示発表）
⑪高校2年「フィリピン医療ボランティア活動報告」（展示発表）
⑫高校2年「ナメクジの光と振動に対する反応」（展示発表）
⑬高校2年「アメリカ派遣研修報告」（展示発表）
⑭高校2年「競技かるたエキシビジョン」（発表）
⑯高校2年「ドイツのスポーツ」（展示発表）
⑰高校2年「対称性の解析」（展示発表）

3年生実施 研究計画用 テーマ一覧

分野	テーマ
政治学／ 国際政治学	1 民主制（デモクラシー）とは何か 2 戦争が起こるのはなぜか
都市工学	3 大宮駅周辺の通勤時間帯の混雑を解消するにはどのようなシステムを作ればよいか 3-1 駅周辺の町づくりに着目して 3-2 交通網の整備の仕方に着目して
生物学	4 体内時計を上手く調節できない患者をどのように治すか 5 昼間に眠くなる原因を解明するには
物理学	6 自然界にある磁鉄鉱はどのようにして磁性を獲得したのか 7 永久磁石はなぜ永久磁石でありえるのか
教育社会学 ／言語教育	8 親の職業は子どもの職業選択にどのような影響を及ぼすか 9 第二言語を学びはじめるのに適した年齢はあるのか、あるとしたらどのような条件が考えられるか
学習科学	10 人はどんなときに、過去に学んだことを活かすのか 11 人が生まれつき持っている学びの力にはどのようなものがあるか 12 人が何かの分野でエキスパートになるとき、どのような学習経験をしてきたか



資料④ グループワーク【3年第2・3回】

班

組番氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

1. 民主制(デモクラシー)とは何か

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1)調べるよさそうなこと/調べるべきことを3つ考える
- (2)出せそうな/出したい結論、研究の結果として伝えられそうな/伝えたい答えの見通しをたてる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 民主制の歴史

② 民主制と民主制ではないところとの比較
権力バジンにあらわの差、国民の生活のあり方の差

③ 人民にまつ、(その)人民全体に利益をもたらすこと

- III (1)列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分
- (2)その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3)そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル democracy identity

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 10分
クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

- ⑧ 海外への就職率と子どもの育ち、親の経済力
- ⑨ 9.11の経済力への介入度
- ⑩ 失敗の方向性を学ぶ、失敗を結果から得たことの違い
- ⑪ 宿舎の環境

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

⑩ 選挙制と選挙と民主制との関係

⑪ 民主制と専制の違い、どのように専制のイベント

⑫ ① 民主制の歴史、政治体制の違い、その国の現状比較

⑬ ② 現代の民主制は本当に民主制? 一時の比較

⑭ ① 民主制の国の内政の通いから民主制の理想を考へ

⑮ ① 民主制の理想(思惟的)と現状を比較

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

○ 制度の仕組みを重視① ○ 制度の重要性②

○ 幸福追求の観点から③ ○ 幸福追求の観点から④

○ 民主制の理想⑤ ○ 民主制の理想⑥

○ 民主制の理想⑦ ○ 民主制の理想⑧

○ 民主制の理想⑨ ○ 民主制の理想⑩

○ 民主制の理想⑪ ○ 民主制の理想⑫

○ 民主制の理想⑬ ○ 民主制の理想⑭

○ 民主制の理想⑮ ○ 民主制の理想⑯

○ 民主制の理想⑰ ○ 民主制の理想⑱

○ 民主制の理想⑲ ○ 民主制の理想⑳

○ 民主制の理想㉑ ○ 民主制の理想㉒

○ 民主制の理想㉓ ○ 民主制の理想㉔

○ 民主制の理想㉕ ○ 民主制の理想㉖

○ 民主制の理想㉗ ○ 民主制の理想㉘

○ 民主制の理想㉙ ○ 民主制の理想㉚

○ 民主制の理想㉛ ○ 民主制の理想㉜

○ 民主制の理想㉝ ○ 民主制の理想㉞

○ 民主制の理想㉟ ○ 民主制の理想㊱

○ 民主制の理想㊲ ○ 民主制の理想㊳

○ 民主制の理想㊴ ○ 民主制の理想㊵

○ 民主制の理想㊶ ○ 民主制の理想㊷

○ 民主制の理想㊸ ○ 民主制の理想㊹

○ 民主制の理想㊺ ○ 民主制の理想㊻

○ 民主制の理想㊼ ○ 民主制の理想㊽

○ 民主制の理想㊾ ○ 民主制の理想㊿

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

今回のテーマについて様々な観点から自由に意見を述べた。自分たちの班では、「民主制とは何か」というテーマが中心で、他の班や教員さんのお話をきいて、頭の中が内容が広がった。今までの大学生何人かのお話をきいたとき、79年の先行研究がもう既に存在していた。革新はテーマを見つけたのは少し難しいのはないが、思いがけず、今回のテーマについて様々な観点があることがわかった。

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

2. 戦争が起るの理由

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1)調べるよさそうなこと/調べるべきことを8つ考える
- (2)出せそうな/出したい結論、研究の結果として伝えられそうな/伝えたい答えの見通しを立てる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 経済

② 食料 GDP・GNI、GNI 食糧自給率、食糧、バフマウター、IT水道

③ 人種・民族・宗教

- III (1)列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分
- (2)その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3)そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル ギョハンと戦争

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

戦争が起る原因を調べたい。

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 10分
クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

Blank area for group sharing notes.

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

原因	解決	その他
1. ギョハン	9. ヴォーパルピエーション	10. 介入は対国の利益
3. 対立	11. 民族性	6. 宗教間の争い
4. 解決のための武器	12. 政治的争	11. 気象変動
17. 資源の競争	13. 起るための条件を整理	
7. 民族宗教	15. 時代	
8. 日本の無謀な戦争	16. 介入	

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

帰納法、演繹法

分類

個人、国家、国際システム

争点

分類の仕方 ex. 食糧、分類の仕方 ex. 宗教

アキ、理論

分類の仕方 ex. 食糧

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

前回は理系のコト
今日は文系のコト (イメージとして)

しかし、研究するにあたりは分類して詳細なことを研究することはある。

分類の方法は違っても、その目的や研究の分野によって異なる点はある。共通点は、例えば、現象と対象を区別することによって、研究するものは分類する必要がある。

共通点

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

大宮駅周辺の通勤時間帯の混雑を解消するには、どのようなシステムをイメージできるか(交通手段の整備を含む)

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1) 調べるとよさそうなこと/調べるべきことを3つ考える
- (2) 出せそうな/出したい結論、研究の結果として伝えられそうな/伝えたい答えの見通しを立てる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 混雑場所、時間、原因。

② 通勤ルート 5個あり → 混雑は、7時~9時が通る。住宅地と通勤場所間の道は交通量が7割と多いと予想される。

③ 自家用車以外の通勤手段

- III (1) 列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分
- (2) その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3) そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル 混雑する道路と通勤者の住む地域との関連性の調査

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

混雑する条件から、混雑したくないシステムを見出し、混雑の最小化を目指す。混雑が少なくなり、人間の幸福につながる。

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ) 10分

駅利用者と周囲へ環境、立体的な街づくり。

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

立体的な街づくり歩行者と自動車の道を分け、立体的な交通網をつくる。新たな交通システムを導入する。

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

現状を改善する設備をどうするかは現状が重要。 → 費用対効果

→ ネットワークを集め、シェアリング。

問題点を自分で分析できることを目指します。

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

工学、と一言で言っても幅は広いなと感じた。工学、定義や目的なんか分かって、興味をそそぐ。今日は都市工学についてだったので、その話を聞いてみようか。問題点を解決する評価の部分も難しいと感じた。その分、自由度も感じた。問題の程度、解決の程度、恐らく数値化が難しいと思うが、理学的にも考えよう。その数値化が、組学でいう大宮駅の状況から、より難しい所が出てくるだろう。特に、自分の提案の結果を考えた時、やはり数値化が難しいと思う。今現在問題点を、このことと改善する、このことと改善したいと思うのが...。でも、自由な発想、思考が問題を解決できる。ということはやはりこの問題の本質から。自分は都市工学を通じていろいろ学びたい。自分以外の工学分野で進んでみたいと思ってる。これから先も進んでいきたい。

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

8 親の職業は子どもの職業選択にどのような影響を及ぼすのか

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1) 調べるとよさそうなこと/調べるべきことを3つ考える
- (2) 出せそうな/出したい結論、研究の結果として伝えられそうな/伝えたい答えの見通しをたてる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 危険な仕事に親が関わっている場合、子供はどのような職業を選ぶのか
→ 同様の職業につく

② 親の職業を知らない子供の職業は親の職業と似ているのか
→ 似たり

③

III (1) 列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分

- (2) その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3) そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル 親が危険な仕事についている子供の職業選択

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

親の教育手法に似ている

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 10分
クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

[Blank area for group sharing]

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

① 親の収入が海外に多い場合(親の収入(海外/国内/増える/減る/安定/不安定))
子供は親の収入に大きく影響を受ける(親の職業(自営業...)) 親の職業が子供の育つ環境
年々の子供と親の職業の違い、幼少期に海外に育つ子供は親の職業の影響

② 国民性が外国語を学ぶ際に影響を及ぼすのか、外国語が得意な子供は書語を習得するに有利な影響
・これは日本語を学んだ子供

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

相関関係 (開いた子供、閉じた子供、親を離れて子供) + 歴史的に子供
量で明らかになっているのか、質で明らかになっているのか
地域差 親が子育ての仕方によって子供が親の育つ

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

親の収入をベースに子供は育つだけでなく歴史的にその収入も役に立つ。
量で明らかになっているのか、質で明らかになっているのか、という点で考えが深い。
大抵。前回のよう情報量の少ない子-2だから質が重視されるのだと思う。

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

10. 人はどんなときに、過去に学んできたことを活かすか

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1) 調べるとよさそうなこと／調べべきことを3つ考える
- (2) 出せそうな／出したい結論、研究の結果として伝えられそうな／伝えたい答えの見通しをたてる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 無意識なのか 意識的なのか? 過程は?

② どのような経験が生かされやすいか?

③

III (1)列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分

- (2)その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3)そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル 人は意識的に過去に学んできたことを生かすか?

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

過程を知りたいから...

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 10分
クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

睡眠
10. 人間と動物の学習
外国語習得度?

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

10. 学んできたことが生かされる条件は記憶のしくみ。
失敗はいい、年齢による、種類(社会的にも、個人的にも) → 幸福追求
11. いろいろな国の赤ちゃんと暮らす。全ての民族に共通するものは人間の幸福か。
12. エキスパート、エキスポート(いろいろな種類の)の共通点を挙げてみる。原理。
凡人とエキスポートの共通点: ちがう点、バックグラウンド

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

アンケートの信頼性、人は勝手にアンケートをとり得るのか。
赤ちゃんと頭の中でどうやって知る? 自覚して使う。
おどろきの分野: ファーブロジー(経験則、おどろきの理論)
原理: 追求

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

おどろきの分野って 原理の追求と比べて幸福の追求に似ている...? と
思ってたので、そういう問いかけをしてみた。
前回は、ある程度アンケートに信頼性がある研究だったと思うけど、今回の分野は
アンケートだけでいい。分野別の通し、文章と理系の間くらいある。どちらか
使用しただけじゃいけないのではと思いついた。

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

人はどんな時に過去に学んだことを活かすのか

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1)調べるよさそうなこと/調べるべきことを3つ考える
- (2)出せそうな/出したい結論、研究の結果として伝えられそうな/伝えたい答えの見通しをたてる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

① 失敗から [自己] (個人的) / (社会的)

↓

② 回数

③ 国民性 (世界国々(向))

- III (1)列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分
- (2)その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3)そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。

タイトル 同じ過去を振り返るために

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

「失敗から学んで活かす」ということは自分自身にも還元するものだから、

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 10分
クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

民主主義 戦争 [日本はなぜ?] [アフリカ] [170-180の世紀] 職業 [所得] [海外] 第2言語 知識 [経験]

エキスパート 地理 - ビルダール

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

種類、時 → 絆

失敗の種類、再臨

国・民族で共通 → 人がどうやって持っている?

エキスパート の キンクス(?) から Choice 共通点を見出す

・パペーとの比較

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

人は後からストーリーをつけていく性質 → 検証することが難しい分野

赤い人は言葉で語る → どうも知っている → ということを証明するかが難しい分野 / 発達科学

学習科学 / 経験則 原理の追究 = 幸福の追求 どちら向き分野

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 10分
今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。

「答えが出た」とは、実は検証するのが難しい (アノテーション確定ではない) 分野の話は初めてだったので非常に興味深かった。 やと自分のやりたい方向に近い話かできました。 検証する手法が不確かなので大変だと思いましたが、だからこそ検証できたのでは? おごく面白そうです...

班

組 番 氏名

I 別紙【テーマ例】のなかから、あなたが研究課題としてイメージできるものを選びなさい。

③ 首都が大きな地震が起きたときになるべく人が死なないうちにあるにはどうしたらよいか。

→同じクラスの中で、同じテーマを選んだメンバーで班を作りなさい。(3~4名) 以上、10分

II グループで、選んだ研究課題について研究をデザインしてみよう。 15~20分

- (1) 調べるとよさそうなこと / 調べるときを3つ考える
- (2) 出せそうな / 出したい結論、研究の結果として伝えられそうな / 伝えたい答えの見通しをたてる
- (1)と(2)をぐるぐる行き来しながら、選んだ研究課題について、うまい研究デザインを考えよう

都市・東京都心で考える

1000年 1000年マップ
毎組 1組 人間の心理状態

- ① 阪神・淡路大震災をモデルケースに人口と人口密度と建造物の密度から、実際にどれくらい被害が出たのかを確認し、もし東京で起きた時の被害を推測し。
↳ ② 朝型・夜型
- ② 死因の分析。建物の崩壊、火災、おれどに埋もれた...etc.
↳ ③ 建物の強度。どれくらい揺れで避難すべきか。どこに避難すべきか。
- ③ 都市で活動する人の災害時の対応は安全なのか。
↳ ④ 住民、会社員、通勤中

☆ ビックデータ

III (1) 列挙した内容のうち、グループ内で最も関心を寄せることができそうなものをひとつ選びなさい。 10分

- (2) その研究に表題をつけるとすればどのようなものが考えられるか。
- (3) そこで行うことは、「原理の追究」か「人間の幸福追求」か。そう判断した理由も記入する。
- 被害を最小限化 実際の混乱を考慮に入れた避難システムを確立。
- 避難 心理状態 - 混雑状況

タイトル ビックデータが大地震からあなたを守る!

原理の追究タイプ

人間の幸福追求タイプ

理由

実際に研究結果を生かすことが目的だから。

IV クラス内で、他のグループがどのような研究をデザインしたのか。 クラス内にて、発表した内容を共有しなさい。(以下は共有内容をメモ)

10分

- ・民主制は国民に利益をもたらす
- ・戦争による利益は不明
- ・日本の戦争に及んだ理由
- ・第一次世界大戦
- ・海外に行く
- ・エスポート・家庭環境

→別紙【大学生/大学院生の部屋】に移動しなさい。

V 同じテーマで研究をデザインした、他の班の発表を聞いて、気づいたことを記しなさい。 10~20分

- 2組 都市のよい避難経路の確立
- 3組 過去の経路を未来に生かす。過去の災害状況。
- 1組 過去に都市と数十年前の地震と現代都市 都市構造
- 7組 現在の都市における避難経路の問題点。
- 9組 死因に見る解決策
- 6組 災害時における救助方法。どこに避難するのかが重要
- 4組 自力で避難するのかが困難 1人の把握

VI 大学生/大学院生のコメントを聞き、気づいたことを記しなさい。 5~10分

大きな関心をもったテーマ設定
↓
市法論: 具体的に → どう生かすか

VII 前回の総合的な学習の時間で協議した内容をふりかえりなさい。 今回考察した内容との共通点・相違点を記入しなさい。 10分

前回は市法論を考へて、今度はその研究をどう生かすかを考へられた。
具体化するのと、状況に合わせて可能なかを検討するのかが難しい。



資料⑥ パネルディスカッション3年【3年第5回】

組 番 氏名

I 前回、あなたが選んだ研究テーマを書きなさい。

1. 民主制(デモクラシー)とは何か。

II 前回、あなたが設定した研究デザインのタイトルを記しなさい。

III それぞれのテーマに係る大学生/大学院生のプレゼンテーションを聞いて、気がついたことを記しなさい。また、それぞれのテーマに係るディスカッションを聞いて、気がついたことを記しなさい。

① 民主制とは: 選挙制度との関係 (国々の違いなど)	② 民主制の根拠条件 / 必要要素 (歴史的背景)
③ 選挙制度の進化 (内閣制・内閣制の進化)	④ 権力制衡 → 三権分立
⑤ 大衆的価値観の形成 (選挙権の拡大)	⑥ 権力制衡 / 社会状況の変化
⑦ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑧ 第二言語の学習の重要性
⑧ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑨ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑨ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑩ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑩ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑪ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑪ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑫ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑫ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑬ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑬ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑭ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑭ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑮ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑮ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑯ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑯ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑰ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑰ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑱ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑱ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑲ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑲ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	⑳ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
⑳ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉑ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉑ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉒ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉒ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉓ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉓ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉔ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉔ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉕ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉕ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉖ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉖ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉗ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉗ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉘ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉘ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉙ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉙ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉚ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉚ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉛ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉛ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉜ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉜ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉝ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉝ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉞ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉞ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㉟ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㉟ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊱ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊱ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊲ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊲ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊳ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊳ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊴ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊴ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊵ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊵ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊶ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊶ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊷ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊷ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊸ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊸ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊹ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊹ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊺ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊺ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊻ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊻ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊼ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊼ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊽ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊽ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊾ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)
㊾ 大衆的価値観の形成: 選挙権の拡大 (選挙権の拡大)	㊿ 第二言語の学習の重要性 (第二言語の学習)

IV 今回の活動に関する大学生/大学院生の感想を聞いて、気がついたことを記しなさい。

・ 現象文系の研究が思ったより面白そう
 ・ 社会についてと、言葉の定義
 ・ 自己実現の重要性 (身近な言葉)
 ・ 自己実現の重要性 (身近な言葉)
 ・ 自己実現の重要性 (身近な言葉)

【メモ欄】

- ・ 原理追究の魅力: 知的好奇心, 世の中を理解する, 存在の意義 (自然)
- ・ 幸福の定義 → 幸福追究と遠くへ...
- ・ 自分のアイディアに自信をもつこと, 研究目的が
- ・ 先行研究との定義の違いの有無を見極めること

組 番 氏名

V 高校での「勉強すること、大学/大学院で「研究すること」を比較しなさい。そのうえで、共通することや違うと思うことを記しなさい。

・ 高校での「勉強」は 自己学習
 大学での「研究」は 協同学習
 ・ 高校での「勉強」は 自分のために行う
 大学での「研究」は 人、世の中のために行う。

VI 今回(9月以降から今日まで)の活動を通じた感想を記しなさい。

1. 2年生のときに進路学習をしたときは、大学の1/17の期間がどのようだったかを学び、研究していき、あんなに漠然と不安をもちながら、今回のような条件的に研究にせよと活動を通じて、少し見通しをたてることができた。今回の中でも、最初は研究の方法と言われもあきらめたことか、思いがけずはかかったが、回を重ね、また、他人の意見に耳を傾けよううちに、研究が面白くなり、多面的に視野を広げて考えることが出来るようになった気がする。

【メモ欄】

組 番 氏名

I 前回、あなたが選んだ研究テーマを書きなさい。

2. 戦争が起こるのはなぜか

II 前回、あなたが設定した研究デザインのタイトルを記しなさい。

ごはんと戦争

III それぞれのテーマに係る大学生/大学院生のプレゼンテーションを聞いて、気がついたことを記しなさい。また、それぞれのテーマに係るディスカッションを聞いて、気がついたことを記しなさい。

言葉の定義(身近な言葉) 分析対象は「数」の「数」

計画実行を正当化する根拠
少ないお金で最大効率
Plan Do Check Action
実験 ← 理論

明らかになる方法

それを説明したいことで、一部の集団を不幸にしてはならない。
エキスポート

IV 今回の活動に関する大学生/大学院生の感想を聞いて、気がついたことを記しなさい。

先を言いつつ研究設定が必要。

利用者の意見

① 原理を説明する能力 ← 知的好奇心
幸福より先に理解
自分の下に行くと自分で言う。幸福より先に理解

研究 → 他人の考案者になるように
類心研究の研究への応用

最終目標を曲げない。又時間がない。
説明

(メモ欄)

組 番 氏名

V 高校での「勉強すること」と、大学/大学院で「研究すること」を比較しなさい。そのうえで、共通することや違うと思うことを記しなさい。

高校での勉強は2つに分けられる
知識をつける
知識を使う(習得) give

大学での研究は高校の2つに
use 知識をつくるが加わる。

VI 今回(8月以降から今日まで)の活動を通じた感想を記しなさい。

大学でやる研究として学んできたが、これはいつかやるときの研究にも当てはまる事項で、今この後から自分の人生においてやることである。

打点具体性にはける部分があるが、これからどうに研究に関わるかという点では、常に研究について考えながら暮らしていく。

(メモ欄)

組 番 氏 名

I 前回、あなたが選んだ研究テーマを書きなさい。

大宮駅周辺の通勤時間帯の混雑を解消するには、どのようなシステムを作れば良いか

(交通網の整備)

II 前回、あなたが設定した研究デザインのタイトルを記しなさい。

混雑と道路と通勤力への住み地域との関連性の調査

III それぞれのテーマに係る大学生/大学院生のプレゼンテーションを聞いて、気がついたことを記しなさい。また、それぞれのテーマに係るディスカッションを聞いて、気がついたことを記しなさい。

石研究において言葉の定義は大切。議論を一般化してはならない。
少数事例研究/多数事例研究
研究対象のレベルと統一性を確保し評価する。 plan check
因果関係と相関関係 仮説検証/課題発見 PPCA
結果としては、不幸な結果も出てくる可能性
工学は結果が実社会に反映される。 - 死生は気遣う。
- 価値基準の設定

IV 今回の活動に関する大学生/大学院生の感想を聞いて、気がついたことを記しなさい。

実習が終了して感じた人々の意見をみると、一部には「計算」というものが面白い。
幸福追求・原理追求 - 一方は見据えつつ、もう一方は身振り。
それとかが分組でお互いをフォロー。
自分から研究したいという意欲を促すことが大切。
ないものを提供される

(メモ欄)

組 番 氏 名

V 高校での「勉強すること」と、大学/大学院で「研究すること」を比較しなさい。そのうえで、共通することや違うと思うことを記しなさい。

高校
答えがある。主に机上。
勉強
知識欲。
知的な楽しみ。
大学
答えがない。机上ばかりではない。

VI 今回(8月以降から今日まで)の活動を通じた感想を記しなさい。

長く大学の研究について学んできて、かなり具体的な
研究のシミュレーションを感じたことがあった。
これに伴って、自分の目指す研究分野への期待も
大きくなった。十分にモチベーションを向上させていると思
う。高校とは違って困難が多いと思えばいい
が、具体的な問題と目前に立って、難しさを
理解することができた。悔しいところもあるが、
やりたかったという興味の方が勝つと勝つと
いるかと思う。楽しみの勉強と頑張りたい。

(メモ欄)

組 番 氏 名

I 前回、あなたが選んだ研究テーマを書きなさい。

10,

II 前回、あなたが設定した研究デザインのタイトルを記しなさい。

人工無意識の、過剰学習を生かすか。

III それぞれのテーマに係る大学生/大学院生のプレゼンテーションを聞いて、気がついたことを記しなさい。また、それぞれのテーマに係るディスカッションを聞いて、気がついたことを記しなさい。

問いを限定してゆく。
 宗教と理科は以ていささかある
 トリガー 記憶の現象の過程
 学習の過程を「発見」が、誰かが不幸にたどらなければならない
 研究結果をどう受け止めるか。人の幸福のため。
 アイデアを正当にするもの
 知ることと罪にたどることあるか?

IV 今回の活動に関する大学生/大学院生の感想を聞いて、気がついたことを記しなさい。

研究結果が誰かが不幸にたどらなければならないという言葉が残りました。
 今回のことは予てから違うかも知れないけれど、私は、昔話の中で、
 「人間の愚かさ、知ることと幸福のたぐいは使っているからではないけれど、
 未知の、何かを防ぐために知識や事実を隠すのは正しいか」と思う、的な
 ことが書かれていて、それがずっと私の中にありまわった。いかにもこの世間は
 正義ではないし、知ることと罪ではないかと思っていたら、それこそ(その)
 理想ではないか、と。大衆心理(?)のことも考えたいと現実的には
 パンクやアゲが走らせてしまっているからと今日思いました。学問というものは
 人の幸せのためにせよとはいいられないことではないか。原理を解明してはいいけれど
 誰かのためにはない。私は文系で(その)幸福追求の方向は正しいか。

【メモ欄】
 知的好奇心。
 刻み込まれた

組 番 氏 名

V 高校での「勉強すること」と、大学/大学院で「研究すること」を比較しなさい。そのうえで、共通することや違うと思うことを記しなさい。

答はあかひんか。

VI 今回(9月以降から今日まで)の活動を通じた感想を記しなさい。

研究というの、新卒先生とかは「具体を抽象に、抽象を具体にする(評論文の解き方はこれでいい)」といっているのを見かけた。具体的な事を集めて、抽象的な一般論を完成させたり。逆に、具体的なテーマに一般論をあたえたり、という風に感じられました。

【メモ欄】

組 瀬 氏名

I 前回、あなたが選んだ研究テーマを書きなさい。

3 都市で大規模な地震が起きたときに何人か死んだらどうするにしようかと。

II 前回、あなたが設定した研究デザインのタイトルを記しなさい。

ビッグデータが大地震があなたを守る!

III それぞれのテーマに係る大学生/大学院生のプレゼンテーションを聞いて、気がついたことを記しなさい。また、それぞれのテーマに係るディスカッションを聞いて、気がついたことを記しなさい。

①→ 選択履修者目 大抵は 既習→ 既習ではないものに注意
 ②→ 内容、内容は 既習か否か ①② 体系的な内容
 ③→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ④→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑤→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑥→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑦→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑧→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑨→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会
 ⑩→ 既習の意義の必要性 ①② 既習がある 社会

IV 今回の活動に関する大学生/大学院生の感想を聞いて、気がついたことを記しなさい。

- ・研究が社会に与える影響を熟慮する必要がある。
- ・自分のアイディアを自信もて。
- ・先行研究から自分の研究の意義を考える。
- ・学問に偏る研究ではなく社会のための研究を。
- ・因果関係→人々への説得力

(メモ欄)

組 瀬 氏名

V 高校での「勉強すること」、大学/大学院で「研究すること」を比較しなさい。そのうえで、共通することや違うと思うことを記しなさい。

答えもお手本もない中で、自分が知ったことを追究していきところが「研究」の難しいところだと思う。「勉強」は個人のカラを磨くのに対して、「研究」は社会に影響を及ぼすことが前提なんだと感じた。しかし、先人が行ってきたことを「勉強」しただけが「研究」が始まらないので、表裏一体だと思った。

VI 今回(9月以降から今日まで)の活動を通じた感想を記しなさい。

やはり、今のままだでは知識も経験も考察も足りないと感じるが、「未熟」な状態の感受性は残していったと思った。「学問」のレベルにいつの間にか洗脳されて頭ごかしになっていては精神的成長は期待できないし、結局は大義名分の「社会」の同僚も得られない。私は自分の「人間力」を磨きに大学に行きたいので、「学問」を通じて自分の心がいかに成長するかを考えている。これだけではないソフトな面も大切だ。

(メモ欄)

2015年度 大宮高校高大連携事業レポート	
【名前】	【所属】 工学系研究科都市工学専攻
【参加回】 (○で囲む) 第1回 <u>第2回</u> 第3回 第4回	
<p>(1) 第4回の授業での発表内容および高校生に伝えたメッセージ (該当者のみ)</p> <p>【発表内容】「過去の経験を未来に活かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験 (データ) や実態把握 (実験, 調査など) を基に, 理論 (モデル) をつくって議論するという研究の流れ ・ 工学系研究における「研究結果の伝え方, 活かし方」という視点の重要性 (研究結果が社会に直結) ・ 評価の際に, 研究者自身が何らかの価値基準を持たざるを得ないこと ・ 社会科学的な研究の場合, 事例ごとに違う要素があり, その「違い」こそが重要な場合がある → 普遍性と特殊性のバランス <p>【メッセージ】</p> <p>(すみません, アドリブで話したので, あまり覚えていないのですが…。むしろレコーダーに残っていれば, 何を話していたのかを教えてくださいたいです。)</p> <p>研究結果の評価にあたっては, 評価軸の正当性を確保する必要があるが, 正当性とは学問の範疇で閉じて議論できるものではない。社会的な合意形成が必ず必要になる。(というようなことから話し始めたのは覚えています。)</p> <p>(2) 全体の活動を通じて、特に印象に残ったこと (1回のみ参加の場合は、その回の中で印象に残ったことで結構です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究内容について軽く説明しただけで, 生徒たちが, 私が実際に普段考えているようなアプローチに次々に辿り着いていたこと。 ・ (ほかの大学生・院生の話を聞いて) 分野によるアプローチや考え方の違いがあること, そしてそのことを互いに認識できていなかったこと。もう少し横のつながりを意識的に持つことで, 高校生にも大学における「学問」について俯瞰的に説明できるようにしなければいけないと感じた。 <p>(3) 同じ活動を他の高校で実施する場合のアイデア</p> <p>高校訪問を開始する前に, 一度学生で集まって, 互いの研究内容や研究に対する考え方を共有しておき, 何を狙ってどのようにプログラムを構成するのかを議論する場が必要だと思います。</p> <p>(4) 高大連携事業について提案したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校での教科の学習と, 大学での専門分野の学習・研究との接続 <p>今回の活動でも狙いの一つであったと思いますが, 「受験」を挟むことにより見えにくくなっている, 高校までの教科の学習と大学以降での学習の接続を行うことが必要な気がしています。</p> <p>東大でも教養とはいえ, 入学するといきなり, 理系なら数学や力学などを学習しますが, 高校での数学や物理学との関係や, 将来進む可能性のある様々な分野との関わりが見えないまま始まってしまい,</p>	

戸惑ったことを記憶しています。出願時に専攻を選択する他大学では、なおさらこのギャップは問題になると感じています。

ここを埋めるような活動ができれば良いと思いますし、高校生のうちに少し先取りしていくつか興味のある分野の研究室に「体験入室」のようなことができればイメージも膨らんで良いのではないかと思います。

(5) 大学生・大学院生が高校で今回のような活動を行うことのメリット・意義について思いつくこと

- ・ 専門分野についての前提知識の少ない高校生の前で、自分の研究を発表することにより、自分の研究についての社会への説明、コミュニケーションの勉強の機会になる。
- ・ 一度大学における研究活動に携わった後で、(専門未分化の) 高校の学習を振り返ることで、自分の研究活動の位置づけを再認識できる。
- ・ 他専攻、他世代の学生とのコミュニケーションの機会になる。
- ・ (高校生にとっては、) 普段接点を持つことの少ない大学生との交流のきっかけになり、進路選択や学習の動機づけに役立つ。プロの研究者よりも、身近で年齢も近いので気軽に話せる。